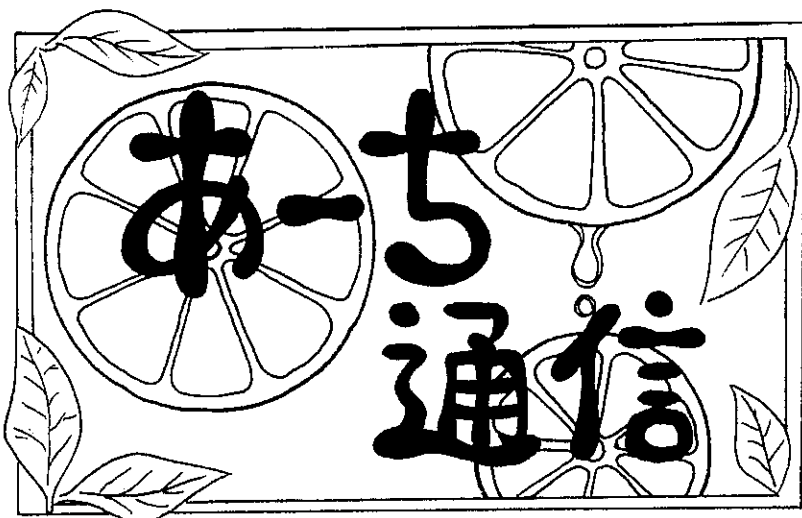


神戸大学大学院サテライト施設
「のびやかスペース あーち」
〒657-0057 神戸市灘区神ノ木通 3-6-18
TEL & FAX 078-805-6090 【開館：火～土曜日】
Email arch@h.kobe-u.ac.jp
http://www2.kobe-u.ac.jp/~zda/arch-prep.html

神戸大学大学院人間発達環境学研究科
ヒューマン・コミュニティ創成研究センター
〒657-8501 神戸市灘区鶴甲 3-11
TEL 078-803-7970 FAX 078-803-7971



プレゼント!

あーち「居場所づくり」 くじらであーと

8月と9月だけのスペシャル企画。

みんなでいっしょにアート活動を楽しみましょう。

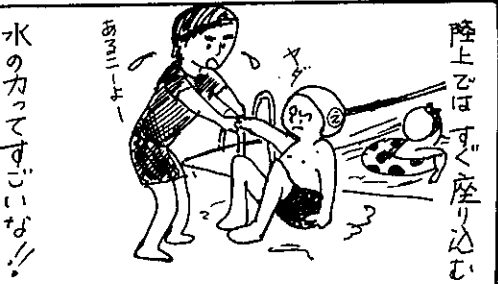
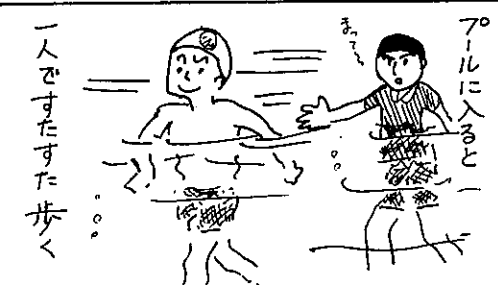
8月は「アトリエくじらのクー」の協力で指人形を作ります!

※9月6日(金)は内容未定

日時: 8月2日(金) 2時～4時

場所: あーと・あーち

えんじえる君 by Bon



「あーち」夏季休館のお知らせ

8月11日(日)～19日(月)は休館いたします。

「おかあさんがおかあさんになった日」

作・絵: 長野ヒデ子

出版社: 童心社

発行日: 1993年7月



一人の赤ちゃんが生まれるとき、同時に一人のお母さんが誕生します。この絵本では、初めての赤ちゃんをおなかに抱えたお母さんの体験が描かれています。ちょっぴり不安な入院、赤ちゃんまだかな?とそわそわする気持ち、とってもしんどい陣痛、そして…。

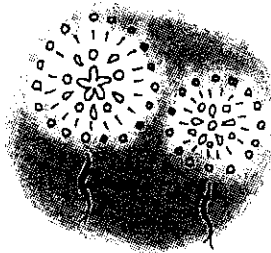
入院から出産までの病院での1日が細かな描写で描かれ、ひとつの生命の誕生に心が温まる作品です。読み聞かせの後には、「おかあさんになった日」について、お子様にお話ししてあげてはいかがでしょうか。

(神戸大学 発達科学部3年 岩倉希)



8 月 予 定 表



		こらぼあーち	あーとあーち	ふらっとあーち
1	木			
2	金	居場所づくり 2時～6時／指人形づくり（くじらであーと）2時～4時		
3	土		あーち人形劇団「むー」企画会議 1時30分～	
4	日	休 館		
5	月			
6	火		あーち人形劇団「むー」企画会議 1時30分～	おひさまひろばあーち（午前中）
7	水			
8	木		筆をもとう 1時～2時30分	ベビーマッサージ（はいはい）11時～
9	金	居場所づくり 3時～6時		
10	土			
11	日	 夏 季 休 館 		
12	月			
13	火			
14	水			
15	木			
16	金			
17	土			
18	日			
19	月			
20	火	あーち通信編集会議 1時30分～	あーち人形劇団「むー」企画会議 1時30分～	おひさまひろばあーち（午前中）
21	水			ベビーマッサージ（ねんね）11時～
22	木	みんなで歌おう 午前中 一人でもできる人形劇ワークショップ① （予約制）2時～4時	筆をもとう 1時～2時30分 めだか親子クラブ 2時30分～	
23	金	居場所づくり 3時～6時／らくがきお婆さんがやってきた 3時30分～		
24	土	おはなしの国 1時30分～2時 音楽の広場 2時30分～		
25	日	休 館		
26	月			
27	火	一人でもできる人形劇ワークショップ② （予約制）2時～4時		おひさまひろばあーち（午前中）
28	水			
29	木	みんなで歌おう 午前中		
30	金	居場所づくり 3時～6時		
31	土			

・太字のプログラムは今月の特別プログラムです。

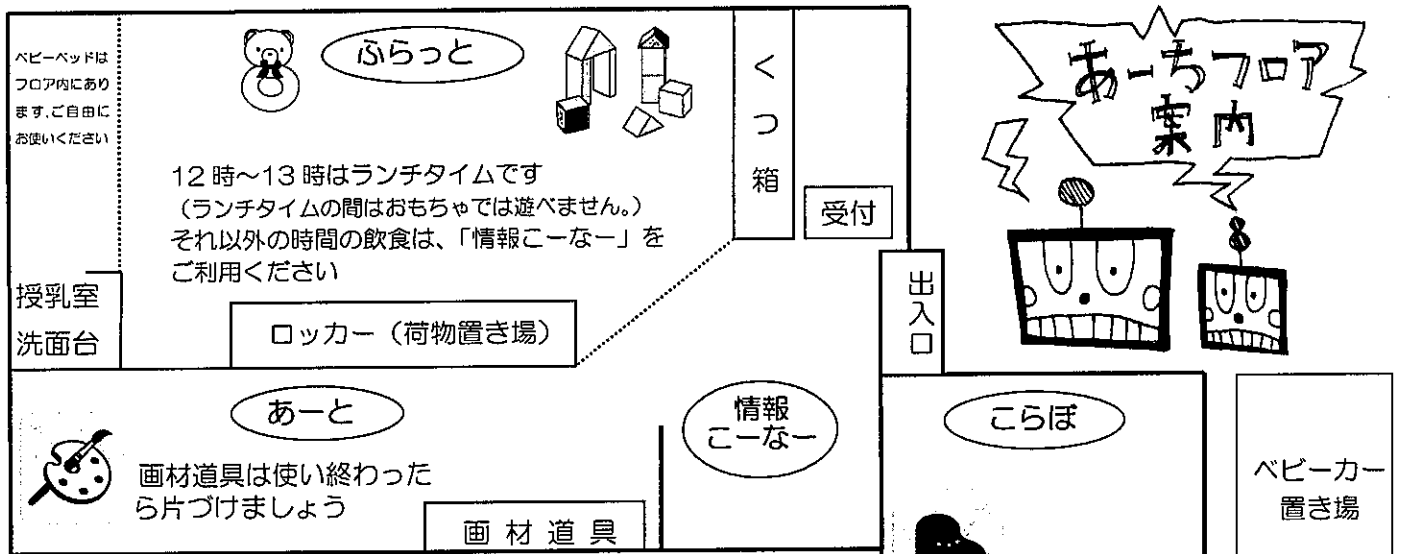
・予約制以外の、どのプログラムも参加（見学）することができます。

・プログラム参加の年齢制限はありませんが、内容などの詳細は受付までお問合せください。

・「ベビーマッサージ」にご参加の方は、バスタオルを1枚お持ちください。

・「アートセラピー」「らくがきお婆さんがやってきた」は汚れてもいい服装でご参加ください。





～お気軽にお声をかけてください～

<ふらっと相談員>

火曜 午前 保育士
午後 灘区地域活動支援コーディネーター (13:00～15:00)
水曜 午前 NPO 法人マザーズサポーター協会 (第4水)
木曜 午前 灘区地域活動支援コーディネーター
助産師 (月2回)
金曜 全日 発達相談員 (11:00～16:00)
土曜 全日 元母子相談員
午前 助産師 (第2土)
不定期 歯科医師 臨床発達心理士
※詳細は受付へお問い合わせください。

あーちのルール

- ☆オムツやゴミは必ず持ち帰りましょう
- ☆託児の機能はありません
- ☆就学前のお子さんが遊ぶときは、保護者の付添いが必要です

『かしこい
さかなは
かんがえた』

クリス・ウォーメル 作・絵

吉上 恭太 訳

徳間書店

2010年9月発行

『おかし おかし、きみは うみじう すとまえのこと。』

ぼくだて うみてなかつたし、

にんげんなんか **だあれも** いなかったころのこと。』

姉の並び方も独特で 強い印象のページが続いて

「うわー!」「えっ!」

その中にいる いびきのかしこい さかな。

うみじうのさかなが 1匹になっても かなわなない。

かしこいさかなには どうしても できない ことが ひとつ。

さあ—なんだと 思いまうか?

何千万年その時の流れ、生物の進化の神秘にふれる

一冊から...



溪家

ごろんごろんで見上げれば

第二話 右手に赤ちゃんをのせて

ゆきはな

順調に体重を増やし日々目覚ましい成長を遂げて行く娘ですが、1ヶ月過ぎた頃からよくぐずるようになってきました。おむつも替えた、お腹もすいていないのに泣き止まず、どうしたらいいのか分からない時間が毎日やってきます。ちょうどそのころから顔に湿疹も出始めました。つるつるだったお肌が赤く乾燥し、ひび割れるようになってきたのです。洗っても保湿しても治らない。私の頭ははてなだらけになっていきました。

そこで、一念発起し、娘と二人で初めて地下鉄に乗り育児や母乳相談をしている助産院を訪ねました。笑顔の素敵な助産師さんは娘の肌を見るなり私に「お母さん、大豆食品摂り過ぎてないですか？」と聞かれました。何を隠そう、私はきな粉が好物。一袋をあっという間に食べ終えてしまいます。おからや納豆、子大豆もやしも私の好物です。大人には大丈夫でも小さな赤ちゃんには消化しきれず顔で排出しているという話を聞き、善かれと思ってではありますがバカ食いしていた大豆食品を控えることを誓いました。

これが縁でお付き合いの始まった助産師さんと話している時に「100%子どもと向き合う」という言葉に出会いました。「家事で忙しいけど、子どもと接しているときはなるべく他のことを考えながらではなく、その子をしっかり見つめることが大切だよ」と。その言葉を聞いて、始まったばかりの自分の子育てを思い返してみれば、耳の痛いことばかりが浮かんできます。掃除や洗濯の他にもお菓子作りが大好きな私は、娘の“隙”を狙ってはパンをこね、クッキーを焼き・・・とバタバタ走り回っていました。娘と過ごしている時間でも、次に何をしようかと、頭の中はフル回転。さらに白状すると、授乳中ですら私は有効活用しようとしていました。「赤ちゃんを目を合わせながら・・・」とよく育児書などには書いてありますが、我が子はあらぬ方向を睨みつけながら必死で飲むタイプだったので目など全く合いません。そこで私は「これは読書の時間！」とひらめき、赤ちゃん片手に本を必死で読む、そんなことを毎日していました。娘の生活リズムに合わせて暮らしているつもりが、結局は自分のやりたいことを優先して娘の表情や小さな変化を見ておらず、私へのメッセージを読み取ることができていなかったのです。そういえば、私の母はよく「小さい、弱い人を大切にすることが、みんなにとって良いことなんよ。」と言っていました。小さな赤ちゃんを私たちの輪の中において、助け合って暮らして行くことは、できなくなることや捨てなければならぬこともたくさんあるけれど、それ以上に豊かな関係をひらいていってくれる。そんなことを思いながら、今は娘を両手に抱いて授乳しています。一向に目は合わずとも。

